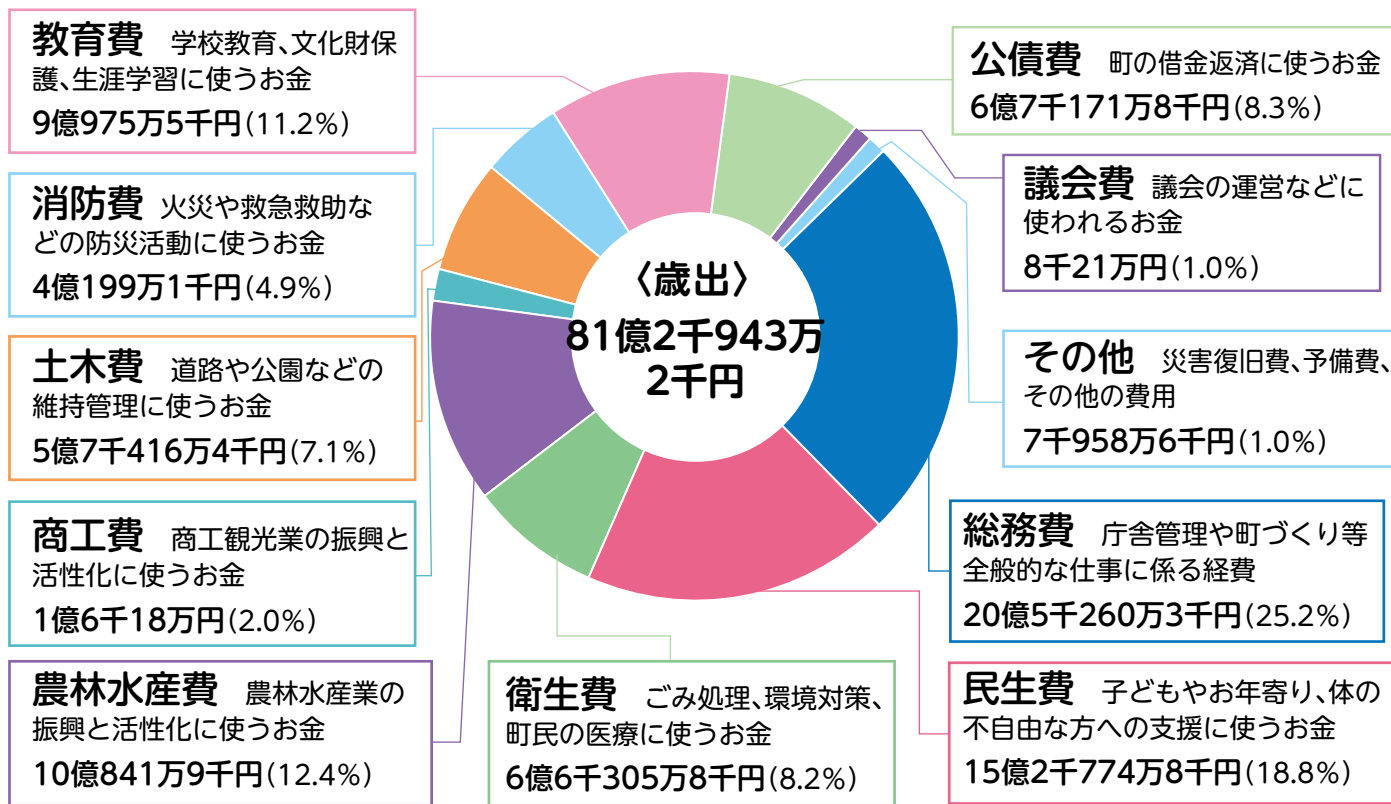


出て行くお金(歳出)

令和4年度の久米島町は、どのようなことにどれくらいのお金を使うのか見てみましょう。

【令和4年度一般会計 目的別歳出予算】



〈令和4年度〉

支出の特徴

・今年の歳出の内訳を見ると、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を計上している経費(総務費)が25.2%と割合が高く、次に、農林水産業の振興に係る経費(農林水産費)が12.4%と続いています。次に、教育及び学校施設に係る経費(教育費)が11.2%、借金の返済である公債費が8.3%となっており、全体の約57.1%を占めています。

義務的経費

職員の給料や手当などの「人件費」と子ども手当や障害者支援などの福祉医療に係る費用である「扶助費」、町の借金返済である「公債費」の合計
33億1千463万9千円 (40.8%)

消費的経費

公共施設の光熱水費や管理費などの「物件費」、施設の修繕などの「維持補修費」、各種団体への補助金などの「補助費等」のことで、後年度に形を残さない性質の費用の合計
22億2千76万7千円 (27.3%)

性質別に見た予算の特徴

・必ず支払わなければならない経費である「人件費」「公債費」「扶助費」の割合が全体の40.8%と高く、財政の硬直化の傾向があります。
 ・今後は総合計画に基づいた各種施策の予算配分と計画的な起債(借入金)活用による公債費の抑制を図る必要があります。

性質別歳出予算

投資的経費

公共施設の建設や大規模改修、道路、公園、港湾の整備など将来にわたり使用するような施設を作る費用である「普通建設事業費」と災害が発生した際の復旧に係る「災害復旧費」の合計
16億9千150万7千円 (20.8%)

その他の経費

基金(貯金)への「積立金」や国保・後期高齢者医療、下水道など他会計への「繰出金」や予算編成時に予見できなかった経費に対応する「予備費」の合計
9億251万9千円 (11.1%)